

令和7年度 第2回南房総・館山地域公共交通活性化協議会 会議報告

会議の名称	令和7年度 第2回 南房総・館山地域公共交通活性化協議会
開催日時	令和7年9月17日（水） 13時30分～14時32分
開催場所	南房総市三芳農村環境改善センター2階大会議室
出席者等	<出席委員>20名 協議会会長 石井 博臣 委員（館山市副市長） 協議会副会長 嶋田 守 委員（南房総市副市長） 協議会副会長 伊藤 昌央 委員（千葉県総合企画部 交通計画課 地域公共交通担当課長） 代理出席 同課 宮原 翔様 田上 重光 委員（東日本旅客鉄道株式会社 館山駅長） 高橋 晴樹 委員（日東交通株式会社 運輸部長） 中川 行雄 委員（ジェイアールバス関東株式会社 館山支店長） 代田 憲隆 委員（鏡浦自動車株式会社 代表取締役） 本間 裕二 委員（南房タクシー株式会社 代表取締役） 小澤 利男 委員（日東交通労働組合 安房支部代表） 嶋田 敏行 委員（安房土木事務所 調整課長） 青木 文男 委員（南房総市住民・利用者代表・三芳地区） 本橋 清一 委員（南房総市住民・利用者代表・白浜地区） 眞汐 眞一 委員（館山市住民・利用者代表（連合会長）那古地区連合町内会長） 庄司 武雄 委員（館山市住民・利用者代表（連合副会長）館山地区連合町内会会計） 市野 将英 委員（国土交通省関東運輸局 交通政策部交通企画課長） 代理出席 同課係長 坂本 裕介様 菅井 規 委員（関東運輸局千葉運輸支局 首席運輸企画専門官） 坂井 陽一 委員（館山警察署 交通課長） 鈴木 賢二 委員（安房道の駅連絡会 会長） 手島 隆 委員（館山市社会福祉協議会 事務局長） 為国 孝敏 委員（NPO法人まちづくり支援センター 代表理事） <欠席委員>1名 成田 斉 委員（一般社団法人千葉県バス協会 専務理事） <事務局> 館山市総合政策部 別所部長 館山市総合政策部企画課 渋谷課長、宇都木係長、矢代副主査 南房総市総務部 座間部長 南房総市総務部企画財政課 黒川課長、和泉澤課長補佐、鈴木係長、忍足主査 <その他出席者> ランドブレイン株式会社 小久保氏 高石氏（交通計画策定支援業務受託事業者）

傍聴人	2 人
会議の議題等	<議題> (1) 南房総・館山地域公共ライドシェアについて 【協議第 8 号】 (2) 地域公共交通計画について 【協議第 9 号】 (3) チョイソコ南房総・館山の実績報告について 【報告第 1 号】 (4) 公共交通定額乗車券（スマホ乗車券）について 【報告第 2 号】 <その他配布資料> ・ 席次表
議事概要及び 発言の要旨	別紙 会議要旨のとおり

別紙 会議要旨

石井会長 あいさつ	・日ごろより、当地域の公共交通行政にご理解ご協力をいただき、御礼申し上げます。 ・今年の夏も猛暑が続くなか、物価高騰などによる社会情勢の変化による影響が公共交通の取り巻く環境にも大きく変化をもたらせていると思う。さらに、先日の台風 15 号では、運休によるお客様対応など、お疲れ様でした。また、日頃の路線維持や利用促進などの各施策など、悩ましい日常を過ごされていると思う。 ・当協議会では、皆様の協力により今年の 3 月から、南房総・館山地域公共ライドシェアとして実証運行を開始している。途中、ドライバー不足もあり、利用者の需要に応えられない時期もあったが、6 月からは、新たなドライバーも加え、さらには、JR 東日本との連携も再スタートするなど、環境づくりに努め、引き続き交通空白時間帯の検証を進めていく。 ・今後も皆様の連携や地域の交通モードを有効に活用した当地域の公共交通の維持・確保が重要である。 ・本日の議案について、皆様方の慎重かつ活発な審議をよろしくお願い申し上げます。
事務局	【議事 8：南房総・館山地域公共ライドシェアについて】 ○協議第 8 号資料の内容について事務局から説明。 3 月から実証運行を行っているライドシェアについて、8 月末までの実績、予約機能の追加を報告。また、運行時間の 1 時間前倒し（22 時スタートを 21 時に）を協議事項として説明。質疑を経て、承認された。
本間委員 事務局 菅井委員	・予約機能の運用開始からこれまでの約 1 ヶ月で実績は。 →先週の日曜日までで 2 件あった。 ・運行時間 21 時からだとタクシーの運行に影響がないとの説明だが、タクシーは 21 時以降運行されないのか。それとも併用していくのか。
事務局	→営業時間は、各社で異なるが最大 23 時 40 分まで営業している。だが、21 時以降、稼働台数が減少していくので、補完する形でライドシェアを運行していきたい。
菅井委員 事務局	・これまでの実績でこういった方の利用が多いのか。属性は。 →飲食店帰りの定期的な利用が 3 名いる。救急病院の帰りの利用は少ない。基本的には、館山駅周辺からの利用が多い結果となっている。
手島委員 事務局	・5 頁の燃料手当等の趣旨は。 →ドライバー確保の観点から燃料捻出を含めた出勤手当を検討している。利用実績のない待機時間が精神的・肉体的に負担となっているため。また、1,500 円が妥当かどうかは、他地域の事例や予算も鑑みて検討していく。
本橋委員	・今年度の実績で依頼 125 に対し運行 50 というのは、需要がないのか。それともドライバーが不足なのか。どのように認識しているのか。

事務局	→比較すると6月に比べ8月の実績は、少ない。運行回数としては、1日1回の運行はしていきたいが、8月は、ドライバー不足もあり、マッチングしないことが多かったと認識している。
本橋委員	・ドライバーの確保、利用者の絶対数など課題があると思うが、その中でもドライバーの利益が出る形に持っていければと思うので、うまくいく方法があればと期待するところ。
事務局	【議事9：地域公共交通計画について】 ○協議第9号資料の内容について事務局及びランドブレイン㈱から説明。 令和3年8月に策定した現計画は令和7年度をもって計画期間終了。現計画の評価指標について最終評価・検証を行い、法改正に対応しながら、現計画を改訂し、「第2期南房総・館山地域公共交通計画」を新たに策定する。また、策定支援業務の受託事業者「ランドブレイン（株）」から現況等について資料を基に説明し、質疑を経て、承認された。
本間委員	・運転免許返納数の増減理由は。 また、チョイソコのアンケートのところで、登録者のうち38%が運転免許を持っていない回答や運行開始により免許を返納した回答、外出回数が増えた回答が載っているが、外出する頻度が公共交通を利用して上がることは、非常に良い兆しだと思うので、そのあたりを注視して考えてもらいたい。 ・利用者もしくは住んでいる方の意識と理解、そして公共交通に対して、今後、自分が暮らしていく上でも必要だと思うような意識向上みたいなのところを取り組んでいかなきゃいけないっていう思いでいる。そのため、地域の人数だけを見るのではなくて、この需要を喚起するということを含めてタクシー会社の公共交通に対する、どんどん使っていこうっていうような住民の意識喚起みたいなのところを全面的な施策として出していただけると非常にいいかなと思っている。
事務局 (ランドブレイン㈱)	→増減理由は調査していない。ただ、アンケートからも免許保有率は高く、便利な車は手放せないものとなっている。いただいた意見については今後、政策などいろいろ詰めていくなかで、検討していく。
本間委員	・この地域の年代別の免許保有数はわかるのか。公共交通の需要を見ていく上で、今後何年にわたってこのエリアで保有者が多い時期を迎えてますっていうものが把握できるデータはないのか。
事務局	→今回の数値は、館山警察署の取り扱い数値。このほかに幕張免許センターで返納手続きもあると思うので、もう少し実績値は多いと思われる。ただ、統計数値は、県警本部で公表しているが、県全体の数値となっており、当該地域数値は公表されていない。
真汐委員	・この地域の公共交通に対するコストはいくらかかっている、その補助に税金がど

事務局 (ランドブレイン㈱)	のくらい使われているのか。知ることが重要ではないか。 また、自分の車を運転して移動するほうが便利なわけで、お金のかけ方も車の安全手段にかけてほしいと思っている。 →路線バスの補助額が評価指標に示してあり令和6年では、約1億円の補助を2市で負担している。この負担については、クロスセクターベネフィットという費用削減効果を分析するものがあり、今後の計画案の中でお示ししていく。
真汐委員	・他の地域では、マイナンバーカードを活用して市役所に行かない取り組みを行っている聞いた。また、医療機関の訪問や移動販売車を展開しているところもある。色々な取り組みがあるなかで、コストも考えた上で、どうやったら一番良い組み合わせができるのか検討をお願いしたい。
坂本代理委員	・色々まとめていただいているところかと思うが、この地域の目指すものを図に示していただけるとわかりやすいと思う。
本橋委員 事務局	・P8下段にあるワークショップの実施地区は決めているのか。 →南房総市和田地区と館山市豊房地区の2ヵ所は決めている。あと各市1～2ヵ所は、対象者も含め検討していく。
事務局	【報告第1号：チョイソコ南房総・館山の実績報告について】 ○チョイソコ南房総・館山の令和7年4月から8月までの実績について資料を基に報告。
本間委員	・8月31日現在の登録人数はわかるが、推移としてはどうなのか。 ・今後も利用者を増やしていきたいと思うが、税金を使って運行しているわけですから、「みんなが知っているか」と言うと、そうでもないと思うので、口コミもそうですし、利便性を高めることもそうですし、利用すると便利だと啓蒙活動を引き続きお願いしたい。
事務局	→4月から8月までは31人の増加。利用者からのお誘いも必要ですし、車内広告なども行い、口コミにより利用していない人にも啓発していきたい。
事務局	【報告第2号：公共交通定額乗車券（スマホ乗車券）について】 ○スマホ乗車券の追加販売について資料を基に報告。
高橋委員	【その他：日東交通より】 高速バス「館山君津～羽田空港横浜線」について、横浜駅のりば変更のお知らせ 9.1より乗務員不足等の理由により2便減便した横浜線は、10.1より「横浜駅」のバス停を「横浜駅東口バスターミナル17番のりば」⇒「新）YCAT（横浜シティエアターミナル）5番のりば」に変更する。

事務局	【その他：次回の協議会について】 次回の協議会開催日時は１１月下旬を予定。事務局が交替となるため、詳細が決定したら館山市からお知らせする。
-----	--